

第2章 地域の概況

第2章 地域の概況

2.1 圏域の概要

上伊那広域連合の圏域は、長野県の南部に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスがそびえ、この間の平野部に諏訪湖を源とする天竜川が南下している。気候は内陸的であるが、極端な寒暖や悪天候は少なく、比較的温和な気候である。

本圏域の位置を図 2.1-1 に示す。

構成市町村は、伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村及び宮田村の 2 市 3 町 3 村で、総面積が 1348.28km² に及ぶ圏域である。

伊那市は平成 18 年 3 月 31 日に伊那市・高遠町・長谷村が合併して新「伊那市」として誕生した。圏域の中央部に位置し、東に南アルプス、西に中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ、その間を流れる天竜川や三峰川(みぶがわ)沿いには平地が広がり扇状地や河岸段丘が形成されている。

なお、対象事業実施区域は図 2.1-2 に示すとおり、長野県伊那市富県(とみがた)の北東部三峰川左岸の新山川(にいやまがわ)合流点西側に位置する。

区域の一部は伊那市の所有地であるが、大部分は民有地で水田となっている。

北側は、敷地境界に沿って三峰川が東から西へ流れており、対岸には三峰川右岸道路が東西に走り、その東側は県道西伊那線と交差している。

東側は、敷地境界に沿って新山川が南から北に流れて三峰川に流入している。新山川の東側には県道西伊那線が南北に走っており、三峰川橋の北側で前述の三峰川右岸道路と交差している。

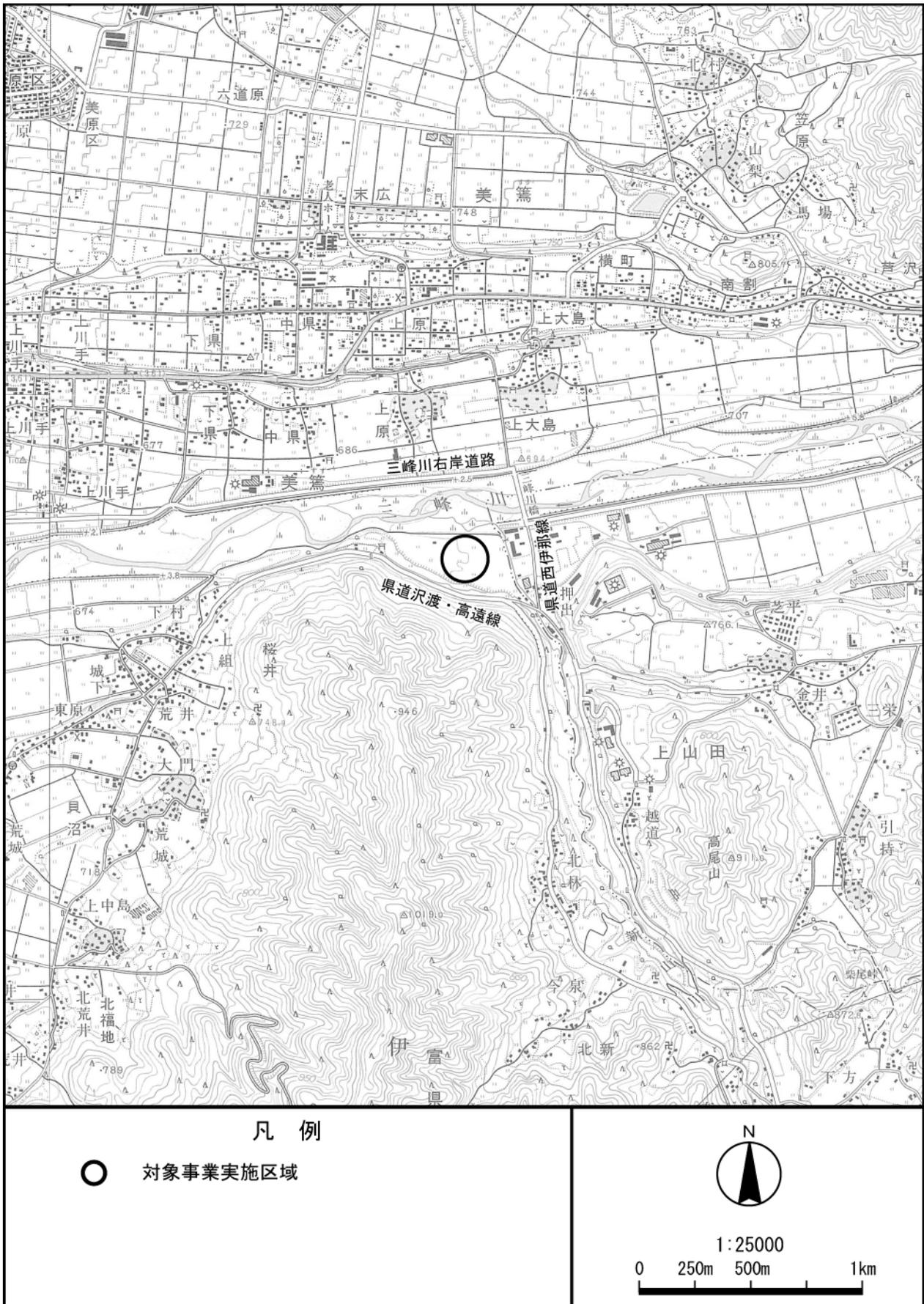
南側は、県道沢渡高遠線が近くにあり、県道西伊那線と交差している。県道沢渡高遠線の南側は、標高 1,331m の高鳥谷(たかずや)山から北側に伸びる尾根が対象事業実施区域に迫っている。

西側には天伯社が存在している。

周辺の状況では、民家が県道西伊那線と県道沢渡高遠線の交差する地点付近に点在している。



图 2.1-1 圏域位置图



この地図は、国土交通省国土地理院発行の5万分の1地形図を基に作成した。

図 2.1-2 想定対象事業実施区域の状況